

覚醒医療への誘い 「宇宙の意思（天の意）は“愛”」

～生命（“いのち”）は宇宙の愛に生かされている～

開催日時：2021年5月23日（日）13:00～16:30

会場：シティー音羽（護国寺）2階会議室（下記アクセス、案内図参照）

参加費：醒医療ネットワーク会員 2000 円（研究員無料）／一般参加者 3000 円（当日会場支払）

■ 発表 1（40 分）

発表者：米田 晃 人間科学研究所所長、覚醒医療ネットワーク事務局長

テーマ：宇宙も地球も生命体「意識の世界と高次元の存在」について

内容：私たちは、物質界（3次元の世界）で生きています。自分だと思っている肉体は物質（3次元の存在）ですが、思いや意識は見えない存在です。意識も“いのち”も元々見えない高次元（波動エネルギー）の存在です。宇宙も地球も高次元の生命エネルギーで満たされていていて“いのち”は自分の意志で生きているのではなく宇宙の生命エネルギーによって生かされています。身体に現れる症状は心や潜在意識、無意識や霊的影響に原因があり、その内因が体を通して症状として現れるのです。



発表者プロフィール: 1937年、岡山県生まれ、幼少の頃から物理現象に興味を持ち探求、機械工学、電子工学を学び、1961年、(株)日立製作所に入社、25年間コンピュータ開発に従事。種々の体験から創造性開発の研究を始め、1987年人間科学研究所を設立。生命と人間の本質研究、気の研究、超常現象や見えない世界(意識、魂、波動、等)の研究、人間科学研究会、「覚醒ネットワークの集い」開催、講演、他種々の活動を展開する。21世紀を境に人間が進化する「高次元メタ文明」へのアセンションを予見、意識の進化「意識科学」を提唱し意識と病発症の関わり、意識と病発症の関わり、生命の本質を研究。「覚醒医療ネットワーク」設立に尽力。著書に『高次元ミロクのメタ文明』(たま出版)。『意識科学』(ナチュラルスピリット)がある。

■ 発表 2（80 分）

発表者：加賀 医知 催眠療法士（量子催眠 QST）、覚醒医療ネットワーク研究員

テーマ：「全ては愛」

内容：量子催眠ヒプノセラピーを通して分かってきた意識世界の視点から見た人間の意識の仕組みを元に、現実世界を支えている意識世界の存在たちを少しでも理解できると「全ては愛」の意味が分かりやすくなってきます。その仕組みと意味を皆さんとシェアしたいと思います。



発表者プロフィール: 2011年の春、旅の途中のカリフォルニア州シャスタ山で大雪に遭遇。その時に出会ったある人物からハイヤーセルフのメッセージを伝えられるが、少々立腹の様子だった。その翌月には前職のCGプロデューサー業を暫く休業のつもりで、クリアボヤント(透視)とエネルギーヒーリングを学び始めたが、そのまま元の職に戻ることなく進み、同時に故ドロレス・キャンロンが開発したヒプノセラピーQHHTの驚異的な施術に強く感銘を受けて、彼女が他界する迄の約1年間は、本拠地のある米国本土に何度も通ってドロレス・キャンロン直々の教義を受ける。そのQHHTの催眠技術を元にミルトン・エリックソンの現代催眠の概念を取り入れながらアレンジを重ね、更に未知なる存在たちの協力によって、科学と常識を超えた奇跡のヒプノセラピー「量子催眠 QST」を開発して、量子催眠スペシャリストとして現在に至る。

■ 質疑応答・討論（60 分）

【お申込・お問合せ】右のQRコード又は下記URLからお申込ください。

(URL) <https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=bxeAao>

あるいは、覚醒医療ネットワーク事務局米田晃

Email: akr-yoneda@nifty.com 携帯 090-5511-9140 までご連絡ください。

*会場案内：シティー音羽 2階会議室 東京都文京区音羽 1-15-15



地下鉄有楽町線「護国寺駅」5番出口から音羽通りを江戸川橋方面(護国寺と反対方向)に道路左側を徒歩3分

光文社の看板を過ぎ3件目のロイヤルホストの看板のある建物がシティー音羽

アーチ型エントランス入って右に集会室入口あり。階段かエレベーターで 2階。